

平成 28 年度事業報告

公益社団法人となり 5 年目を迎え「身近なところのかかりつけ医」として、地域精神保健・医療・福祉の充実と増進、さらには精神科診療所の資質の向上等にむけ引き続き取り組んでまいりました。従来 of 事業に加え、厚生労働省平成 28 年度医療機関に対する就労支援ノウハウの周知・普及等の実施事業、また、診療報酬改定に向けたアンケート調査、他学会との共同研究、講演会を柔軟に行うことで、会員、医療関係者の知識向上に取り組み、さらなる地域精神保健医療福祉の発展と向上に取り組んでまいりました。

【 公 1 】 地域精神保健医療福祉の更なる向上を支援するための諸事業

1. 診療所における地域精神保健医療福祉事業についての調査・研究

(1) 地域精神科医療を取り巻く諸問題の現況分析のためのアンケート調査事業

会員診療所へデイケアに関する実態調査を行い、臨床現場での治療・診断、また先端の医療情報など精神科医療に関する最新情報提供を行った。

A：地域福祉・デイケア委員会調査：精神科診療所デイケアの有効性調査・分析
精神科診療所機能や地域支援機能、デイケアの現状について委員会を開催し、情報交換、意見交換を行った。また、デイケアの現状に関するアンケート調査を行い問題点の検討を行った。

B：認知症等高齢化対策委員会調査：重度認知症患者デイケア実態調査・分析
「平成 25 年度障害者総合福祉推進事業」で行った「精神科診療所における地域生活支援の実態に関する全国調査」の結果を委員会内で引き続き検討・分析を行い次なる調査のため、会員診療所向けにアンケート調査を実施した。

C：自殺対策プロジェクトチーム・埼玉県精神神経科診療所協会：
精神科診療所における自殺予防活動調査・分析
自殺対策プロジェクトチーム：以前より自殺の実態調査に協力している 10 地区に自殺対策調査研究を引き続き実施してもらい、自殺企図者への対策等自殺対策調査研究を引き続き行った。また、10 地区に現状の自殺実態を調査の依頼をし、第 2 報の報告書作成を行った。

埼玉県精神神経科診療所協会：埼玉県精神神経科診療所協会調査（通年）
埼玉精診を中心に会員からの自殺既遂例の実態調査と症例報告の集計分析を行った。
D：児童青少年問題関連委員会：児童青少年の精神医療についての調査等
児童青少年の発達障害について、ネット依存の症状・診断・治療について協議を行った。

(2) 地域精神保健医療福祉の向上を図るための全国診療所の現況のための調査事業

精神科診療所での実態調査を行うことで日精診としての精神科医療の在り方を研究し、今後の医療制度の問題点への指摘・提言できるデータを作成し、精神保健医療向上を目指す。

A：医療制度対策委員会：医療制度・精神科救急関係調査
精神科診療所からみた精神科医療のビジョンを考えるプロジェクトチーム：
平成 25 年度に行った外部講師との対談、精神科診療所調査及び訪問内容の分析をして報告書にまとめる作業を委員会において引き続き行い、報告書の作成・配布を行った。また、厚労省精神障害保健課との意見交換会を 3 回開催した。

B：医療経済委員会：医療経済関係調査

診療報酬改定に向けた調査、情報交換、精神科七者懇談会へ提案を行った。

(3) 精神科医療現場で活用できる患者支援サービスのためのシート・ソフト開発等の研究事業

A：「日精診版 社会生活支援サービスシート・CD」開発研究と普及

NSSサービス研究事業 全国研修会：（地域福祉・デイケア委員会）

日精診版診断書ソフト開発・普及

当協会独自の「日精診版 社会生活支援（NSS）サービスシート及びCD開発・普及を続け、現場医療職員への支援向上、患者への支援サービスにつなげてきた。

また、今年度も全国研修会の開催や、日精診ジャーナルへの記事掲載により、シート・CDの普及にも貢献した。

担当：地域福祉・デイケア委員会

実施：委員会でのシート・CD研究・開発を行った。

日程：開発：通年

全国研修会：平成29年3月12日（日）13：00～16：30 AP品川

参加者数：22名

講師：竹島 正（川崎市健康福祉局障害保健福祉部担当部長／精神保健福祉センター所長）

テーマ：「地域包括ケアシステムと精神科診療所」

上林正貴（南彦根クリニック）、服部 健太郎 氏（地域生活支援センターまな）

テーマ：「NSSサービスのバージョンアップについて」

窪田 彰（錦糸町クボタクリニック）

テーマ：「精神科リハビリテーション評価マニュアルの活用について」

村山 ひとみ（大通公園メンタルクリニック）

テーマ：「包括的支援ケアマネジメントの検討状況について」

成果・活用：研修会において実際にサービスシートを使用している医療・福祉関係者からのご意見を多く頂戴し、利用者同士の情報・意見交換を通して情報の共有や課題の共有ができた。

2. 精神保健福祉及び精神科医療に関する正しい知識の普及及び相談事業

(1) 地域精神医療保健福祉の向上に関する講演会開催事業

認知症や統合失調症等に対する一般市民への正しい精神医学の啓発、及び自殺対策、うつ病予防などの精神医学的、社会的問題への寄与、障害者を抱えた家族への啓発を行った。

A：公開講座「どんとこい！認知症」

担当：認知症等高齢化対策委員会

実施：平成28年11月3日（木）13：00～17：00 新宿明治安田生命ホール

参加者数：111名

特別講演：

「認知症予防の最前線」

講師：遠藤英俊（国立長寿医療研究センター 長寿医療研修センター長）

シンポジウム

シンポジスト：高橋幸男、瀧口仁美、釜 完司郎、廣澤美佐子

コメンテーター：遠藤英俊

B：公開講座「産業メンタルヘルス講演会」

担当：産業メンタルヘルス関連委員会

実施：平成28年9月27日（日）13：00～17：00 新宿明治安田生命ホール

参加者数：297名

基調講演：「ストレスチェック時代の職場のメンタルヘルス対策とは～これからの在り方を求めて～」

講師：渡辺洋一郎（日本精神神経科診療所協会 会長）

シンポジウム・総合討論

シンポジスト：高野知樹、奥山真司、神山昭男、檜林理一郎

指定発言：渡辺洋一郎

C：公開講座「みんなでかたろう！女性のメンタルヘルス」

担当：女性の精神科医療を考える委員会

実施：平成28年11月20日（日）13：00～16：30 新宿明治安田生命ホール

参加者数：50名

特別講演：「～女の不安 男の不安～」

講師：平島奈津子（国際医療福祉大学三田病院精神科 教授）

シンポジウム

シンポジスト：鬼頭有代、宮内和瑞子、平山太日子

コーディネーター：望月美知子

コメンテーター：平島奈津子

D：公開講座「自殺対策講演会」（自殺対策プロジェクトチーム）

担当：自殺対策プロジェクトチーム

実施：平成29年2月26日（日）13：30～17：00 新宿明治安田生命ホール

参加者数：173名

基調講演：「職場における自殺対策の現状と今後の改題」

講師：神山昭男（有楽町桜クリニック院長、日精産産業メンタルヘルス関連委員会委員長）

シンポジウム・総合討論

シンポジスト：山本健也、諏訪嘉彦、矢内美雪

(2) 各地区で展開されている講演会・相談会事業に対する助成事業

各県精神神経科診療所協会等で開催されている一般市民対象の講演会事業への助成を行った。

A：各県協会等開催講演会事業助成

1. 講演会相談会「宮精診メンタルヘルス講演会」3回（28.7.9、28.11.12）宮城精診共催 助成金額 87,075 円
2. 講演会相談会「児童思春期メンタルヘルス研修会」（29.2.25）宮城精診共催 助成金額 123,000 円
3. 講演会相談会「認知症フォーラム・みなみそうま」（28.10.16）福島精診共催 助成金額 150,000 円
4. 講演会「家族・当事者・精神科医の三つの立場を経験した私から、皆様へお伝えしたいこと～子供として、患者として、そして治療者として～」（29.3.5）群馬精診共催 助成金額 200,000 円
5. 講演会「アルコールが落とす影 心からだに生活に」（28.11.20）埼玉精診共催 助成金額 400,000 円
6. 講演会相談会「第10回こころと福祉の相談会&講演会」（28.10.1、28.11.27）神奈川精診共催 助成金額 640,000 円
7. 講演会「あいせいしん市民公開講座 スムーズな就労を目指して」（29.3.15）愛精診共催 助成金額 50,474 円
8. 講演会「高次脳機能の臨床」（29.2.16）滋賀精診共催 助成金額 37,000 円
9. 講演会「市民講演会」（28.9.8、28.11.9、28.11.17、28.12.4、29.2.2、28.2.8）大阪精診共催 助成金額 100,000 円
10. 講演会「ハートフェスタ～心と心のふれあい広場～」（28.11.3）兵庫精診共催 助成金額 200,000 円

11. 講演会「平成 28 年度市民公開講座」（28. 6. 26）宮崎精診共催 助成金額 212, 232 円

- (3) 地域の精神保健医療福祉の向上を図る精神保健無料相談及び電話相談への助成事業
各県精神神経科診療所協会等で開催されている一般市民対象の無料相談・電話相談事業への助成を行った。

A：精神保健無料相談・電話相談

1. 専門医によるこころの健康なんでも相談 (28. 6. 19、28. 9. 11) 大阪精診共催 助成金額 600, 000 円
2. 第 22 回こころの健康よろず相談 (28. 10. 23) 広島精診共催 助成金額 240, 000 円
3. 専門科医によるこころの電話相談 (28. 4. 1~29. 3. 31) 東京精診共催 助成金額 160, 000 円

- (4) 一般市民向けに精神科医療情報パンフレット作成事業

精神保健医療福祉分野における最新の情報・知識の普及、精神科医療を身近にすることを目的として発行した。

A：医療情報マップ発行（各県精神神経科診療所協会）

各県精神神経科診療所協会において地域のメンタルクリニックマップ、日精診会員診療所マップの作成を行った。

- (5) 精神保健医療に関する情報提供のための啓発冊子（ブックレット）発行事業

一般市民を対象に精神保健医療に関する情報を提供することにより、精神医療保健福祉分野における正しい知識や地域の精神保健、医療、福祉に関する情報の普及啓発を行った。

A：ブックレット発行（会誌編集委員会）

特集：「精神科診療所と認知症医療・ケア」

執筆（高橋幸男：エスポアール出雲クリニック）

発行部数：40000 部発行

配布先：会員診療所、各地区協会、精神保健福祉センター、保健所等

- (6) 平成 28 年度医療機関に対する就労支援プログラムのノウハウ普及・導入支援事業
（厚労省委託事業）

精神障害者の就労支援を目指す精神科医療機関を支援し、より広くより充実した就労支援の全国展開を目指す。就労支援に関わる精神科診療所へのインタビュー調査、就労支援を活発に行う精神科診療所等で見学・説明・相談会を開催、新たに就労支援相談等に入る精神科医療機関の新規開拓、医療機関を対象とした就労支援ノウハウの周知・普及セミナーの開催、医療機関を対象とした精神障害者の就労支援に関する相談援助を行った。

A：モデル事例集発行（インタビュー調査）3000 部発行

配布先：会員診療所、各地区協会、各地区精神科病院協会、精神保健福祉センター、保健所等

B：精神科医療機関を対象とした就労支援ノウハウの周知・普及セミナーの開催

テーマ：「精神障害者の職業生活を支援するために、医療機関等の役割や支援方法、その工夫などを語り合う～職場定着支援におけるチーム支援のあり方について～」

1. セミナー in 宮城 (28. 11. 12) 仙台市医師会館 参加者 89 名
2. セミナー in 大分 (28. 12. 10) 中津市立小幡記念図書館 参加者 94 名
3. セミナー in 大阪 (29. 2. 4) ドーンセンター 参加者 116 名

C：就労支援に関わる精神科診療所の見学・相談会の開催

1. 見学・相談会 in 北海道 (28.8.29) ほっとステーション
2. 見学・相談会 in 大阪 (28.9.21) にじクリニック
3. 見学・相談会 in 京都 (28.9.29) まるいクリニック
4. 見学・相談会 in 滋賀 (28.10.19) 南彦根クリニック
5. 見学・相談会 in 愛知 (28.10.28) 鳴海ひまわりクリニック
6. 見学・相談会 in 宮城 (28.11.12) 原クリニック
7. 見学・相談会 in 千葉 (28.11.14) ひだクリニック
8. 見学・相談会 in 神奈川 (28.11.21) さいとうクリニック
9. 見学・相談会 in 大阪 (28.12.8) 三家クリニック
10. 見学・相談会 in 大分 (28.12.9) 寺町クリニック
11. 見学・相談会 in 静岡 (29.1.18) メンタルクリニックダダ
12. 見学・相談会 in 岩手 (29.1.27) もりおかこころのクリニック
13. 見学・相談会 in 佐賀 (29.2.1) 多布施クリニック

3. 精神保健医療福祉に関する教育研修及び広報事業

(1) 地域精神医療保健福祉の向上を目的とした研修会開催事業（医療及び精神保健福祉関係機関従事者対象）

精神科医として精神疾患の診断・治療技術の向上、及び地域社会における活動の方法、地域精神保健医療福祉への貢献の在り方などについて事例・症例研究会・検討会を行い、国民の精神保健の向上を引き続き図った。

A：事例検討会（各県精神神経科診療所協会）

1. 講演会「児童検討会」（28.6.16、28.9.15、28.12.15、29.3.30）埼玉精診共催 助成金額 19,540 円
2. 講演会「精神科医療におけるシステム化の意義」（28.11.19）山梨精診共催 助成金額 110,000 円
3. 講演会「今どきの若者像-診察室での出会いから見た青年期-」（29.3.18）滋賀精診共催 助成金額 96,500 円
4. 講演会「～基礎から実践まで学ぶ事例検討～」(29.3.4) 大阪精診共催 助成金額 100,000 円
5. 講演会「第17回思春期症例検討会」（28.4.2）広島精診共催 助成金額 50,000 円

B：研修会：第22回学術研究会（大阪精神科診療所協会共催）

実施：平成28年6月11日（土）～12日（日） 大阪市中央公会堂

参加者数：495名

テーマ：「しんどいけど、おもしろい！～ぼちぼちいこか、外来精神医療～」

特別講演、メインシンポジウム、分科会等

C：関連機関共催による講演会・研修会事業

・日医共催事業（女性の精神科医療を考える委員会）

日医共催事業「平成28年度 医学生・研修医等をサポートするための会」

担当：女性の精神科医療を考える委員会

実施：平成28年12月25日（日）15：00～17：00 ハイアットリージェンシー東京

参加者数：14名

基調講演：

①「女医の花道」 講師：おおたわ史絵（医師）

D：チーム医療・地域リハビリテーション研修会：長野（地域福祉・デイケア委員会）

第17回チーム医療・地域リハビリテーション研修会：長野

担当：長野県精神神経科診療所協会

実施：平成 29 年 2 月 18 日（土）～2 月 19 日（日） ホテルメトロポリタン長野
参加者数：374 名
テーマ：「冬来たりなば春遠からじ??～真冬の長野から精神科診療所の未来を語ろう～」
オープニングセミナー、特別講演、教育講演、シンポジウム、分科会等

E：司法精神医学講演会

第 9 回司法精神医学講演会

担当：医療観察法等検討委員会

実施：平成 29 年 2 月 12 日（日） 13：00～15：30 A P 品川 A+B 会議室

参加者数：38 名

講演：「医療観察法医療の現状から見える課題」

講師：平林直次（国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院）

医療観察法勉強会

担当：医療観察法等検討委員会

実施：平成 28 年 10 月 9 日（日） 10：00～12：00 A P 品川 P Q 会議室

参加者数：15 名

講演：「リスクアセスメントとリスクマネジメントー共通評価項目の研究結果を通じて」

講師：壁屋康洋（独立行政法人国立病院機構榊原病院心理療法室）

医療観察指定通院医療機関連絡会議・勉強会（医療観察法等検討委員会）

担当：医療観察法等検討委員会

実施：平成 28 年 10 月 9 日（日） 12：00～13：30 A P 品川 P Q 会議室

参加者：15 名

実施：平成 29 年 2 月 19 日（日） 11：00～12：00 ホテルメトロポリタン長野

参加者：16 名

(2) インターネットを介した精神保健医療に関する知識の普及啓発と心身の健全な育成を図る事業

インターネットを介し、国民へ正しい精神保健医療福祉に関する最新情報の提供を行う。また、地域における精神科医療機関に関する情報提供を行うことで、地域連携の役割を担う。

A：ホームページ運営事業（情報システム委員会）

講演会、研修会事業等を HP にアップし、一般市民、医療関係者への情報発信として、情報提供の場となる。

(3) 精神保健医療に関する情報提供のための学術・情報誌発行事業

精神医療保健福祉分野における最新の研究報告・学術情報・知識の普及、及び地域医療を担う精神科医療関係者の資質向上を目的として、年 6 回学術・情報誌、学術研究会報告集および、研修会特集号をした。

①協会誌「ジャーナル」及び「チーム医療地域リハビリテーション研修会報告集」発行（会誌編集委員会）

担当：会誌編集委員会

ジャーナル：222 号（28.5.31）～227 号（29.3.31）年間 6 巻発行

各号 1800 部～1870 部

チーム医療地域リハビリテーション研修会（長野大会号）報告集：29.3 1870 部

②「学術研究会」報告集発行（大阪精神科診療所協会共催）

学術研究会（大阪大会号）報告集：29.3 2150部

4. 精神保健医療福祉に関する調査研究に対する助成事業

地域精神保健医療福祉の進歩に寄与すると思われる個人または団体による調査、研究、出版事業などに助成をした。

田中健記念研究助成事業：田中健記念研究事業積立金を財源に、年間総額 300 万円の範囲内で資金を供与し、対象内容の対象者の数に応じて分配。前年度くり越し分も含め今年度は総額を超えての助成となった。（平成 28 年度助成総額 4,306,853 円）

- ①統合失調症患者のサルコペニア（筋量減少）の発生と座位中心の生活習慣との関連についての調査
- ②精神神経科診療所における向精神薬処方および患者の QOL・満足度の実態調査
- ③中小零細企業の就労者のメンタルヘルス不調に対するニーズ調査と啓発・教育活動について
- ④中てんかん患者における向精神薬治療の発作頻度への影響
- ⑤地域で暮らす精神障害者を支える精神科診療所 PSW の役割について
- ⑥睡眠を含めた生活活動と日中の眠気との関係について
- ⑦精神科受診に関連する要因に関する研究
- ⑧精神障害・発達障害のある方への就労支援における治療的改善効果の測定を目的とした研究活動Ⅱ～運用マニュアルに基づいた大阪府内での取り組みについて～
- ⑨映画を用いた大人の発達障害者への感情認知トレーニングについて

以上、9 件

*平成 29 年度学術研究会にて研究発表後、9 月発行予定のジャーナルに論文掲載。

5. 災害時における精神保健医療福祉に関する支援事業

- (1) 被災者、精神科医療機関、保健所等への支援を行いながら、継続支援が必要な人を地域精神保健医療福祉につなげる事業であり、震災支援者のための援助事業を引き続き行っていく。また、全国会議を開催し、被災地及び各地の情報交換を行うと同時に日精診としての支援方法を検討し、具体的な支援プログラムの作成、被災者、診療所等への支援について検討を行った。

A：震災支援マニュアル作成

担当：地域福祉・デイケア委員会

「日精診 災害対策マニュアル」第二版について、熊本地震被災診療所の声も取り入れて検討を行った。

B：被災地域・被災者支援活動（全国会議及び支援）

年 1 回開催し、全国各地区での災害に対する取り組みなどを検討し震災に備える。

開催：平成 28 年 10 月 23 日（日）11：00～17：00 AP 品川 ABC 会議室

参加者数：53 名

議題：日精診災害支援対策本部から経過報告と今後の支援

災害支援の取り組みについての報告

現地報告等：熊本における活動報告、熊本地震支援についての報告

C：地域精神科医療機関の業務支援

全国会議において、各地域の現状やニーズなどの情報交換を行い、地域の現状に即した業務支援について検討を行った。

- (2) 災害によりトラウマを受けた子供たちの心のケア及び親、教師への支援を継続的に

う事業

A：子供たちの心のケアのためのチラシ・冊子を配布し普及
子どもの精神療法に関するパンフレットの作成、講演会での配布を引き続き行う。

B：児童・青少年の心のケアのための講演会
公開講座「第7回子どものこころの健康を考えるシンポジウム」
担当：児童青少年問題関連委員会
実施：平成29年1月29日（日）13：00～16：30 新宿明治安田生命ホール
参加者数：161名
シンポジウム1：「発達障がいを抱える子どもの現状と課題」
講師：西川瑞穂（かく・にしかわ診療所）
シンポジウム2：「大学における支援の現状と課題」
講師：若山隆（日本福祉大学学生相談室）
シンポジウム3：「就労支援の現場における現状と課題」
講師：山田加奈子（大阪市障がい者就業・生活支援センター）
シンポジウム4：「厚生労働省における発達障害者支援施策」
講師：日詰正文（厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課障害児・発達障害者支援室）

討論：西川瑞穂、若山隆、山田加奈子、日詰正文

【他1】地域精神保健医療福祉関連機関に対する協力事業

(1) 地域精神保健医療福祉活動の向上を図るため、他の精神科医療機関、各種職能団体、社会復帰施設及び関連団体、精神保健福祉センター及び保健所、精神障害者社会復帰センターなどの諸団体、国、都道府県、市町村など関係行政機関との協力、援助を図る。

A：厚生労働省、行政、日本精神科七者懇談会、日本臨床分科医会代表者会議、精神保健福祉連盟、等での情報交換、及び事業協力を行う。

【他2】会誌発行など会員への情報伝達を中心とした事業

(1) 会員間での精神科医療に対する啓発、会員名簿作成により全国の会員の診療所情報提供を行うことで、地域連携に結びつく事業を引き続き行った。

A：会員・各委員会メーリングリスト

担当：情報システム委員会

メーリングリスト開設状況：22件

①会員ML、

②各委員会ML

(地域福祉デイケア、児童青少年問題関連、産業メンタルヘルス関連、女性の精神科医療を考える、医療制度対策、医療経済、医療経済・政策合同、会誌編集、情報システム、学術班、会員基礎調査、薬事、倫理、医療観察)

③理事会ML

④地区会長会ML

⑤精神科診療所からみた精神科医療のビジョンを考えるプロジェクト委員会ML

⑥厚科研チーム

⑦会員支援対策委員会ML

⑧自殺対策プロジェクト委員会ML

⑨災害支援対策チームML

B：MEDIFAX 等情報発信（医療経済委員会）

担当：医療経済委員会

M E D I F A X 情報提供を行い日精診の活動につなげる。

（2）機関紙、F A Xニュース等の発行により、会員への情報伝達を中心として行い、最新の医療情報を発信し会員の知識向上に貢献していく事業。

A：会員向け情報「F A Xニュース」発行

担当：会長、副会長、事務局長

発行：F A Xニュース 127 号～133 号 7 回発行、全会員への情報提供：5 回発行

B：会員向け情報「議事録誌」発行

担当：会誌編集委員会

発行：222 号（28.5.31）～227 号（29.3.31）年間 6 回理事会議事録 H P 掲載（会員向け）